

松尾芭蕉と近江

期日 11月5日(日) 13:30～16:30(受付13:00～)

会場 滋賀大学・大津サテライトプラザ
(JR大津駅前・日本生命大津ビル4F)

入場無料(ただし、資料代300円申し受けます)

講師 幻住庵保勝会理事・滋賀県立大学非常勤講師 山田 稔 さん

元高校教員 滋賀県民主教育研究所副理事長
登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会顧問 「革新の会しが」代表世話人

<講師からひとこと>

大津市堅田・浮御堂の南の湖岸に芭蕉の句碑があります。

比良三上雪さしわたせ^{さぎ}驚の橋

元禄3(1690)年、幻住庵に入る前に堅田で詠まれた句です。句碑は芭蕉270年忌の記念碑として建立されました。書は時の谷口久次郎滋賀県知事が揮毫しました。琵琶湖大橋の完成記念も兼ねていました。大橋は、俳人でもあった谷口知事が芭蕉のこの句から着想を得て建設したと言われています。

芭蕉は伊賀上野の出身。長く江戸に住んでおり、元禄7(1694)年10月、大坂で亡くなりました。その芭蕉が、なぜ膳所の義仲寺に葬られているのでしょうか。

芭蕉を慕って、全国各地から多くの人たちが幻住庵を訪れます。芭蕉は、今も私たち日本人の心の中に生きているのです。

みんなで芭蕉の世界を訪ね、芭蕉と近江とのかかわりに思いをはせましょう。

蝉しぐれ蕉翁ここに投句箱 未稔子

当日の資料(A4判・16頁)

はじめに

- 1 芭蕉の生涯
- 2 蕉風の確立
- 3 近江の風物をこよなく愛した芭蕉
- 4 蕉風を受けとめ、受け継いだ近江の門人たち

参考文献

- 参考資料1 近江における
芭蕉の足跡をたどる
- 参考資料2 芭蕉の足跡を歩く
— 近江の句碑探訪

おわりに



幻住庵(滋賀県観光情報「公式観光サイト」から)

主催 滋賀文化懇話会 (代表 成瀬龍夫/滋賀大学元学長)

お問い合わせ先・講座事務局 080-5302-4019